

24人の 夏フェス!! 2026

＜出演ピアニスト＞



有森博 (ありもりひろし)

1992年東京藝術大学大学院修了。その後モスクワにて研鑽を積み現在に至る。これまでに野上登志子、水本雄三、小林仁、ナターリヤ・スズロワの各氏に師事。1990年第12回ショパン国際ピアノコンクール最優秀演奏賞。1991年岡山県芸術顕彰を受賞。1992年第5回シドニー国際ピアノコンクール第4位。1994年第10回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門入賞。1996年から2000年にかけてラフマニノフのピアノ作品全曲演奏会を成し遂げ、2001年にはプロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させるなど、ロシア作品に積極的に取り組む活動を展開し、ロシア音楽のエキスパートとして高い評価を受ける。1995年、2001年に小澤征爾指揮新日本フィルと協演の他、日本フィル、東京シティアフィル、読売日響、九響、関西フィル、山形響、仙台フィル、神奈川フィル、東フィル、芸大フィル、ワルシャワフィル、ボーランド放送響などの内外の主要オーケストラ、著名指揮者との協演を重ねる。2004年には小澤征爾指揮サトウキチンオーケストラのメンバーとしてヨーロッパ6カ国ツアー及び日本公演に参加。これまでにソラルバムで19枚のCDがリリースされ、カペレフスキー「ラフマニノフの全曲録音」が進行中。「展覧会の絵」、「カペレフスキー」、「チャイコフスキー」につづけて、「ロシアバレエの誘惑」、「メネルの時間」、「ラフマニノフ奏奏曲集」、「音楽の玉手箱」〜露西亞秘曲集他、その多くが特選盤に推薦されている。現在、国内外での活発な演奏活動の他、「ロシアの玉手箱」、「ロシアピアノの承諾」、「ラフマニノフピアノ独奏曲全+α」、「チーム有森博がショスタコヴィッチの交響曲をピアノ（独奏・連弾）で表現するシリーズ」などのロシア及び旧ソ連邦の作品によるリサイタルシリーズを行っている。東京藝術大学音楽学部教授、大阪音楽大学特任教授。公式ホームページURL arimori.info/



新井奏汰 (あらいかなた)

4歳よりピアノをはじめ。第34回群馬県ピアノコンクール中学生部門優秀賞、ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会D級ベスト22賞、F級入選、連弾上級ベスト8賞、ショパン国際ピアノコンクールin ASIA大学生部門全国大会金賞、アジア大会銅賞、第65回全東北ピアノコンクール第1位並びに文部科学大臣賞、日本クラシック音楽コンクール全国大会大学の部第3位(最高位)、東北大学工学部、同大学院修士課程、東京藝術大学別科を経て、現在、同大学院音楽研究科修士課程1年。これまでに田中みゆき、赤松林太郎、植木由利子の各氏に、現在、有森博、菅原望の両氏に師事。



井関花 (いせきはな)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校在学中にパリ・エコールノルマル音楽院奨学生として留学、東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻を卒業、同大学別科修了。在学中、角野裕、ジャン＝マク・ルイザグ、有森博、萩原麻未の各氏に師事。PTNAピアノコンペティション全国大会E級金賞、全日本学生音楽コンクール全国大会第2位、京都フランス音楽アカデミーにてJeune Talented賞/スカシップ賞を受賞。現在、白百合学園中等高等学校音楽科講師。



岩井亜咲 (いわいあさき)

第18回フレデリックショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)本大会出場。第37回かながわ音楽コンクールピアノ部門第1位。第17回ヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール(イギリス)にて、セミファイナリスト賞受賞。2021年度、2022年度次次エニエル基金(公社)日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度奨学生。タウ・スカラシップ第67期生。これまでに、白水芳枝、藤井隆史、小川典子、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院修士課程修了。



岡田芳樹 (おかだよしき)

4歳よりヤマハ音楽教室に在籍。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学音楽学部3年在学中。在学中に藝大クラヴィア賞を受賞。第32回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門小学校中学年の部、最優秀賞・中田喜直賞・神奈川トヨタ賞受賞。第41、42回ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会D級銀賞・D級ベスト賞受賞。第6回ソナタコンクールソナタ卒業章部門金賞受賞。第11回東京国際ピアノコンクール大学1年生部門第2位。これまでに、有森博、池長理恵、菅原望の各氏に師事。



奥田ななみ (おくだみなみ)

東京藝術大学器楽科卒業。京都フランス音楽アカデミーにてスカラシップを受賞し渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院にて、ピアノ科、室内楽科高等演奏家ディプロムを取得。パリ国際音楽院修士課程ピアノ科、第3課程アーティスト・ディプロマ演奏・創作アンサンブルNEXT、Duo NeMeuとして室内楽修士課程、即興演奏科を修了。現在、エクリチュール社に在籍。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員、RMF2023年、2024年度奨学生。



工藤康大 (くどうやすひろ)

秋田県出身。6歳よりピアノを始める。ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会D級ベスト22賞、F級入選、連弾上級ベスト8賞、ショパン国際ピアノコンクールin ASIA大学生部門全国大会金賞、アジア大会銅賞、第65回全東北ピアノコンクール第1位並びに文部科学大臣賞、日本クラシック音楽コンクール全国大会大学の部第3位(最高位)、東北大学工学部、同大学院修士課程、東京藝術大学別科を経て、現在、同大学院音楽研究科修士課程1年。これまでに田中みゆき、赤松林太郎、植木由利子の各氏に、現在、有森博、菅原望の両氏に師事。



栗原良介 (くりはらりょういち)

2004年生まれ。第26回ヤングアーティストピアノコンクールD部門銅賞(最高位)、第30回彩の国・埼玉ピアノコンクールE部門金賞。併せて埼玉新聞社賞、ヤマハ賞を受賞。第19回セシリア国際音楽コンクールピアノ部門大学生の部S入選。これまでにピアノを上野真実、吉田友昭、司耕田優子、有森博の各氏に師事。ソルフェージュを高橋裕祐に師事。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻4年在籍。



小林小百合 (こばやしきより)

京都堀川音楽高等学校をピアノ科首位の成績で卒業する。東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。ビティナ・ピアノコンペティション A2、A1、B、D、E 級にて全国大会銅賞、ベスト賞、大阪府知事賞、JEUJIA 賞、読売賞など多くの賞を受賞。東京国際ピアノコンクール第3位。立教大学、早稲田大学にてゲストピアニストとして特別講義を務める。これまでにピアノを長谷川千花、クラウディオ・ソアレ、甲斐環、松井和代、岡原慎也、有森博の各氏に師事。現在東京立総合芸術高校、京都堀川音楽高等学校非常勤講師。



杉山理起 (すぎやまりき)

千葉県出身。第49回ビティナ・ピアノコンペティション全国大会F級金賞。第26回ショパン国際ピアノコンクールin ASIAアジア大会高校生部門金賞、ソリスト賞、同時にIPMカトヴィツェ賞を受賞し、第15回カトヴィツェ国際ピアノ・マスタークラス(ポーランド)にて受講料免除で参加。千葉県立小金高専を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻1年に次次エニエル奨学生第13期生として在学中。これまでにピアノを浅井麻衣子、後藤康孝、財満和音、有森博の各氏に師事。



高倉圭吾 (たかくらけいご)

第5回野島裕也くすくすピアノコンクール2位。東京藝大モーニングコンサート出演。第15回 G.Pecar国際ピアノコンクール1位。Les Musicales du Centre即興部門1位。第90回日本音楽コンクール3位。パリ国立高等音楽院を経て東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。並びに藝大クラヴィア賞、大学院アカンサス音楽賞受賞。これまでにピアノを佐藤睦美、橋高昌男、植田克己、上田晴子、F. Bralley、有森博の各氏に師事。現在東京藝術大学にて非常勤講師を務める。



武田莉奈 (たけだりな)

2008年生まれ。3歳よりピアノを始める。第31回日本クラシック音楽コンクール第4位。第78回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第48回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第1位。学内にて選抜された東京文化会館発表演奏会、旧前田侯爵邸サロンコンサートに出演。これまでに松山優香、本田聖嗣の各氏に師事。現在、有森博、高木早苗の各氏に師事。東京都立総合芸術高等学校音楽科を経て、東京藝術大学1年在学中。



伊達広輝 (だてこうき)

2020年度、学内にて藝大クラヴィア賞、'22年、藝大クラヴィア賞、アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。これまでにエウフォニア管弦楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでにピアノを鍵谷玲子、岸澤佳司、佐藤睦美、有森博の各氏に師事。兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院音楽研究科修了。公益財団法人青山音楽財団、一般社団法人福島育英会各奨学生。江戸川演奏家協会会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。



谷口和真 (たにぐちかずま)

滋賀県出身。4歳よりピアノを始める。滋賀県ピアノコンクール、京都ピアノコンクール、クオリア音楽コンクール等で1位入賞。平和堂財団芸術奨励賞、東京藝大ジュニア・アカデミー第3期生、成果披露演奏会にて藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。これまでに、辰巳恵美、堀見亮、植田克己、角野裕、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部2年在学中。



戸澤正宇 (とざままさたか)

千葉県木更津市生まれ。東京藝術大学卒業。第24回ちば音楽コンクール第1位及び最優秀賞受賞。2016年木更津ユネスコ大賞受賞。第4回、第5回藝大ピアノコンクール本選出場。これまでにピアノを飯田陽子、秦はるひ、佐藤後、後藤康孝、吉永哲道、沼田宏行、有森博の各氏に師事。ヴァイオリンを御木多木氏に師事。作曲を故小島佳男、西尾洋の各氏に師事。



中野由那 (なかのゆな)

2009年東京都江東区生まれ。5歳よりピアノを始める。第9回Kジュニア&音楽コンクール第2位、第10回Kpianoコンクール第1位、第10回東京国際ピアノコンクール第2位、第30回日本クラシック音楽コンクール第3位、2024日本ベートーヴェンピアノコンクールプロフェッショナル部門第3位(最高位)、第18回ベートーヴェン音楽コンクール第1位、ほか多数。これまでに、大塚玲子氏、生井澤日向子氏、有森博氏の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年在学中。



中村純音 (なかむらあやね)

5歳でピアノを始める。高校入学以降、ロシアピアノの曲を歌うような音色に魅了される。また、最近ではKAWAII LAB.を中心とするアイドル文化に惹かれ、アイドル音楽とそれ以外の音楽の接点を追究している。将来的に、対位法や管弦楽法、指揮法などを取り入れ、多数の室内楽曲もレパートリーとして、活動の幅を広げていこうと考えている。これまでに、丹治裕美氏、長瀬賢弘氏、現在有森博氏に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校及び同大学音楽学部を経て、同大学院修士課程1年在籍中。



中山瞳 (なかやまひとみ)

東京藝術大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学室内楽科にて研鑽を積み、帰国後、東京芸術大学大学院修士課程を修了し、修了時に大学院アカンサス賞及び芸大クラヴィア賞を受賞。第29回坂本新入音楽コンクールピアノ部門第1位、第21回ヨハンネス・ブラームス国際音楽コンクールピアノ部門第2位、また、ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール 2019 in Tokyo 第2位を受賞。現在、東京芸術大学大学院室内楽科非常勤講師。



生井澤日向子 (なまいざわひなこ)

東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学、同大学院修士課程修了。ポーランド国立ショパン音楽大学大学院を最優秀の成績で修了。ポーランド、日本両国で多くの演奏会へ出演。イタリア、フランスの各国国際コンクールにて入賞。現在は演奏の傍ら後進の指導にもあたっている。



濱田真子 (はまだまこ)

鹿児島県立松陽高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第51回鹿児島市春の新人演奏賞。これまでにピアノを有森博、池川礼子、桃坂寛子氏に、室内楽を東誠三、市井俊彦、藤原朝子氏に、ソルフェージュを上之段祐佳氏に師事。現在、Sumino Piano Academyピアノ講師、K音楽教室ピアノ講師、鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。ソロや伴奏、アンサンブルなどの演奏活動をする他、コンクール審査員、後進の指導も積極的におこなっている。



間世田采伽 (ませだあやか)

宮崎県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。学内にて2019年藝大クラヴィア賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、2022年藝大クラヴィア賞、大学院アカンサス賞を受賞。現在、同大学院音楽研究科博士後期課程に在籍し、エドヴァルド・アブラハムソンをはじめとするアルメニアのピアノ音楽を中心に研究を行っている。第23回東京音楽コンクール第3位など数々のコンクールにて入賞。2018年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。ピアノを有森博氏に師事。



松下征樹 (まつしたまさき)

北海道札幌市出身。4歳よりピアノを始める。全日本学生音楽コンクール第73回小学校の部北海道大会第1位、全国大会入選、第76回中学校の部北海道大会第2位、全国大会入選、JPTAピアノ・オーディション第35回部門全国大会最優秀賞、第41回C部門全国大会優秀賞、併せて全国優秀者演奏会に出演。ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア第5回C部門第5位、第10回D部門2位、併せて相模湖交流センター賞を受賞。これまでに佐藤睦美、水田香、植田克己の各氏に師事し、現在、有森博氏に師事。東京藝術大学1年在学中。



松山聡花 (まつやまさたか)

富山県出身。第6回いわかみ国際ピアノコンクールファイナリスト。第9回よまがタックピアノコンクール シニア部門Dコース金賞、グランプリ。第41回富山県青少年音楽コンクールピアノ部門 中・高校生部門最優秀賞、日本新聞社長賞。全国新聞音楽コンクール上位入賞者演奏会「交流の響き in かわさき2024」に出演。高森静香、竹内啓子、有森博の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校2年在学中。



幸重明日香 (ゆきしげあすか)

東京藝術大学、同大学院ピアノ修士課程および博士後期課程を修了。博士号(音楽)を取得。在学時にはピアノ科T Aを務めた。2021年、2022年度福島育英会奨学生。第13回日本演奏家コンクール第2位、第2回クオリア音楽コンクール第1位、第9回エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第2位など数々のコンクールで入賞。第25回ABC新人コンサート音楽賞を受賞。ソリストとして日本センチュリー交響楽団、テレマン室内楽管弦楽団と共演。横浜市立戸塚音楽コース特別非常勤講師を務めた後、現在、東京藝術大学教育研究助手。